

菜 豆 の 栽 培



(河西郡芽室町「大手亡」の栽培)

菜 豆 の 鶏 糞 積



(河 東 郡 音 更 町)

菜 豆 の 集 荷



(河 西 郡 芽 室 町)

菜 豆 の 豆 選 工 場



(河 西 郡 芽 室 町 農 協 豆 選 工 場)

は し が き

北海道における菜豆の栽培は古くから行われ、本道の風土に適したため、開拓の進捗と国内外における需要の増加に伴ない漸次栽培が増加した。とくに品質良好なため海外において好評を博し、戦時中は一時減少を免れなかつたが、近年再び海外市場への進出も盛んとなり、また国内需要も増加の一途をたどり、その栽培面積は急激に増加して、全国の90%以上を占める現況にある。

今回、技師嶋山鉦二が従来的菜豆に関する試験調査成績を取りまとめたので「北海道の菜豆」として刊行し、当業者の参考に供する次第である。

昭和32年3月

北海道立農業試験場長

農学博士 栢 内 吉 彦